

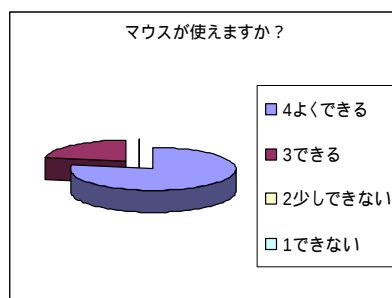
研究経過報告

2005.5.28(金)ゼミ資料
204M001 穴澤真由子

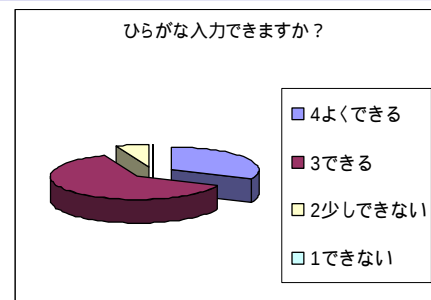
「イメージマップを活用した授業」

- 事前調査より
- 調査目的; パソコンスキルの実態把握
- 1クラス33名によるアンケート調査
- 「イメージマップ」+「パソコンの使用」の授業効果を想定して

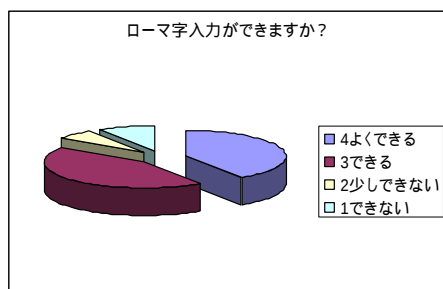
質問1、マウスが使えますか？



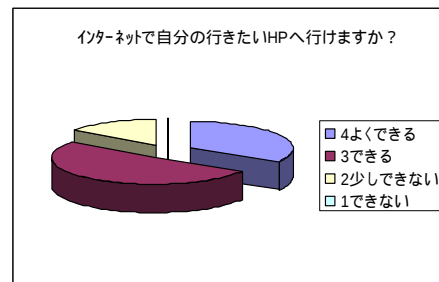
質問2、ひらがな入力ができますか？



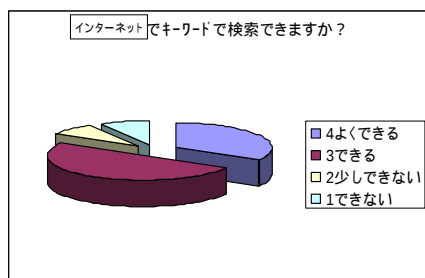
質問3、ローマ字入力ができますか？



質問4、インターネットで自分の行きたいHPへ行けますか？



質問5、インターネットでキーワードで検索できますか？



パソコンの時間に困ったこと

- ・パソコンの時間がもっとあればくわしく調べれる。
- ・できればパソコンを一人1台にしてほしい。
- ・パソコンの時間が短い。
- ・パソコンが止まった(固まった)とき。
- ・時間が少ない。二人でやるからやりたいことがちがってなかなかできない。
- ・調べたいことを調べようとして、打ってみたけど調べられなかった。もう少し時間がほしい。
- ・途中で止まる。中途半端なところで終わる。
- ・調べるときよく調べたい記事がなかなか見つからない。
- ・ページの種類によって同じキーワードでも内容が違うときがある。

アンケート結果の考察

- 予備調査からパソコン・インターネットとも家庭でよく普及しており、今回の調査と合わせて、機器を扱うスキルについては、ほぼできているといえる。
- 総合学習などでよく行われる調べ学習でパソコンを使用することが多いが、時間不足で中途半端なところで終わりがちであることがうかがえる。時間があれば自分の目的に合った情報を得るところまで行けると言うことだろう。

6年生理科「ヒトと動物の体」の授業

- 「イメージマップ」の前段階として、まず「キーワード」を意識した授業をする。
- 「キーワード」を提示し、それを使って短文を作る活動をする。
- 「キーワード」を提示し、それを使って言葉つなぎをする。

3年生理科の授業で

- 授業開始5分程度、授業に関係する言葉集めをしている。

今後の研究の予定

- 「イメージマップ」作りを取り入れた授業を進め、後半に調べる活動と調べたことをまとめて発表する活動を取り入れる。テストや授業観察によって、児童一人一人の学力の向上をはかりたい。特に低学力の児童に視点を当てたいと考えている。